

のへじ

議会だより



《あすなる橋 差し伸べられた手を未来との出会い》 広報キッズ「はなちゃん」



野辺地町
ホームページ
(野辺地町議会)

PART
1

未来をつかめ！大局を読む

総合計画折り返し地点 後半の初年度予算 2

PART
2

町民の声を背に

一般質問という名の政策提案 6～10

PART
3

心を大切に、声を形あるものに…。

町民と野辺地町議会議員との意見交換会 12～13

前進あるのみ!!



岡山義廣議長

総合計画折り返し地点 後半の初年度予算

未来をつかめ！大局を読む

地域とともに担い手づくりを 財政健全かつ物価高騰対策を

財政健全化に取り組みつつ、物価高や官公需の価格転嫁への対応を。コスト削減ありきではなく、安定的な行政サービスを。



戸澤 栄議員

「未来につなげる幸せのまち のへじ」の課題は大きな壁となって立ちはだかる。しかし、課題は飛躍への助走となる。野辺地町はもっと良くなる。そこに、打開する使命と責任がある。議員が注目しているポイントを紹介します。

物価高騰対応支援を手厚く 国スポの成功を

財政的負担も考慮しつつ、統合小学校建設を確実に進め、子どもたちの教育環境の整備を。



古林 輝信議員

公共交通の整備を ホタテ養殖業の維持を

新庁舎や統合小学校の建設事業以外にも、地域環境の整備にも取り組むよう期待したい。



横浜 睦成議員

統合小学校新築事業の再考を スキー場再開を

統合小学校建設は、国補助金採択の上で検討を。スキー場再開に実質的なアクションや意思がないと判断せざるを得ません。



中谷 謙一議員

大胆な決断と効果的な運用を 意思を明確に反映した事業を

人口減少対策に若い世代のつなぎ止めを。地元雇用対策でUターンも積極的に。



高沢 陽子議員

原子力立地給付金の使途明確に 統合小学校建設を住民合意で

住民と行政が相互理解を深め、行政に意見や心配を直接伝える場を大切に。住民と共に歩むまちへ。



野坂 充議員

元気で活気あふれる町政に どんな災害にも対応可能な体制を

空き家・空き店舗を活用して、サテライトオフィスの誘致によって、新たな雇用創出、人口減少対策に。



木戸 忠勝議員

小学校建設で豊かな教育環境 議会DXの推進で議会力UP

事務事業評価の積極的公開で住民と共に歩む町政発展を期待したい。



大湊 敏行議員

支えあい切れ目ない保健福祉 レクリエーション施設の充実

子どもから高齢者まで安心して楽しみ、憩いの場となる場所の検討を期待したい。



村中 玲子議員

新規借入は7年度の1.5倍 4年先まで継続費53.8億円

借入残高3年連続増加。今年度借入11.5億円。将来の財政に不安。



赤垣 義憲議員

第一次産業に対する支援の強化 将来の地方債残高増への対策を

総合計画後期基本計画に掲げた取組に対する成果にどう反映されたか、経過に注視したい。



五十嵐 勝弘議員



新年度予算の詳細は、「広報のへじ4月号」をご覧ください。



あわせて見たい！
読みたい！！

広報キッズ「にーなちゃん」

令和8年度一般会計予算では、統合小学校建設事業関連の予算を削除する修正案が提出され、白熱した議論となりました。

令和8年第2回3月定例会が2月24日から3月6日までの11日間（本会議5日）の日程で開かれました。

3月定例会



統合小学校新築事業を巡る論点整理（令和2年度～令和7年度）

年度	主な動き
令和2	令和4年度着手を発表 概算事業費35.4億円と説明 建設地を「現・野辺地小」と提示
令和4	野辺地小学校の耐力度予備調査実施
令和5	耐力度予備追加調査実施 概算事業費48.6億円 統合小学校新築事業検討委員会の設置 議会統合小学校新築事業調査特別委員会の設置
令和6	耐力度本調査実施により国庫補助対象（11.5億円） 概算事業費57.2億円 新年度一般会計予算に設計費1.1億円を計上した予算案が賛成多数で可決
令和7	統合小学校建設に関する町民アンケート実施を求める動議が賛成少数で否決 *令和8年第2回3月定例会* 新年度一般会計予算に工事費7.48億円を計上した予算案に対する修正案が賛成少数で否決

のへじの未来への布石
子どもの教育環境を守る

■ 学校建設推進派（賛成）の主張：教育環境と物価高対策を重視

- ・老朽化が深刻 ⇒ 耐力度調査で「危険建物」判定
- ・今後も物価上昇が続く ⇒ 延期はさらなる建設費増へ
- ・国庫補助・過疎債・原子力立地給付金相当額で対応可能

■ 慎重派（反対）の主張：財政負担と住民合意を重視

- ・将来の児童数減少を見越し規模が過大
- ・住民説明が足りない
- ・小中一貫校案の検討が不十分



荘厳な美しき学び舎「野辺地小学校」だが、耐力度に限界がきている。

統合小学校建設事業は是か非か 修正案を賛成少数で否決

提出者：赤垣議員
統合小学校建設事業に関連する予算を全て削除するもの。

原案賛成

木戸議員

現野辺地小学校は、老朽化が深刻であり耐力度調査では危険建物と判定され、速やかな新校舎建設が求められている。当該建設事業が国庫補助に採択された場合、予算の担保が必要となる。

修正案賛成

野坂議員

野辺地町の未来のため、統合小学校建設工事関連経費を削除するべき。

討論

意思に相違あれど町の未来のためという想いは共通それぞれの想いを表決に・・・

原案賛成（修正案反対）



原案反対（修正案賛成）



聴く！見る！考える！つなげる！議会
“町民”の声をひろいあげます！

一般質問で政策提案 町民の声を背に

町のさまざまな課題等について、町に方針等を聞くのが「一般質問」。3月定例会では5名の議員が登壇し、町政への質問や提言を行いました。ここでは、ダイジェスト版でお知らせしています。詳細は会議録をご覧ください。

(6月上旬公開予定)



支え合い切れ目のない保健福祉	
自治会における見守り対応マニュアルの整備	村中
認知症チェックの導入	村中
災害時の地域見守り体制の構築	村中
地域福祉計画	大湊
誰もが学べる教育	
まかど温泉スキー場の再開に向けて	中谷
住み続けたくなる生活環境	
空き家対策	木戸
防災対策	木戸
雪対策の強化	大湊
メリハリのある行財政	
原子力立地給付金の見直し	赤垣
自治体DXの推進	大湊

一般質問は登壇順に
次のページから



広報キッズ「にーなちゃん」



臨時会が1月29日（本会議1日）に開かれました。

一般会計補正予算（第8号）が可決され、地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰対策として生活応援商品券が6月に配布されます。

全町民に 2万円の商品券を

物価高騰対策生活応援商品券発行事業

2億4140万円余り

反対討論

赤垣議員
商品券発行に期間を要する。早急に対応可能な現金給付などの支援策に変更を。

討論

賛成討論

大湊議員
国の指針では、年度内の議決が求められており、速やかな事業執行を。

ほぼ一瞬でわかる 審議議案と賛否 令和8年第1回1月臨時会

専決処分

一般会計補正予算（第6号） 4300万円増 総額81億1700万円 国及び県の補正予算成立に伴い、子育て世帯への支援、燃料費等高騰による生活困窮者世帯に対する支援などを行うもの。	承認
一般会計補正予算（第7号） 1200万円増 総額81億2900万円 衆議院議員選挙の経費を追加したもの。	

令和7年度補正予算

一般会計補正予算（第8号） 2億7600万円増 総額84億500万円 物価高騰対策として、全町民に商品券を配布するもの。 (賛成) 横浜議員、高沢議員、木戸議員、村中議員、戸澤議員、古林議員、中谷議員、大湊議員 (反対) 赤垣議員	賛成 多数 可決
---	----------------

一般会計補正予算（第9号） 3300万円増 総額84億3800万円 除排雪費用を追加するもの。	全員 賛成 可決
---	----------------

その他

損害賠償の額の決定及び和解 損害賠償額を定め、賠償することで相手方と和解するもの。	全員 賛成 可決
--	----------------

人事

固定資産評価審査委員会補欠委員の選任の承認 乙部和弘氏の退任に伴い、欠員が生じたことから八木橋哲也氏を補欠委員に選任するもの。	承認
--	----



地域全体で安心感の醸成を

互いに学ぶ機会を確保（町長）

問 独居及び認知症の高齢者が増加する中、住民が異変を察知した際に対応可能なよう「見守り対応マニュアル」を作成し、地域全体で支え合う意識を育むため、自治会との更なる連携強化を目指しては。

町長 今年度、「認知症高齢者等見守りネットワーク事業」として、町職員をはじめ、関連機関、店舗、医療・介護事業所等を対象に、延べ50回ほど学習会を実施した。適切な見守りを行

い、必要な支援になげるため、周囲の誰もが気づき、行動できる体制の重要性を改めて認識していることから、マニュアル整備は本事業を進める中で検討する。



認知症チェックの試験的導入を

早期発見と介護予防を推進（町長）

問 町の検診の場で、簡易的な認知症チェックを行い、必要に応じて専門機関や地域包括支援センターにつなぐ仕組みを整えては。

町長 該当するチェックシートを介護予防事業などの通いの場や、家庭訪問、相談

事業などの機会に活用しており、必要に応じて介護予防事業への参加の促進や医療機関の受診の勧奨など、個人の状況に応じた支援を行っている。今後、認知症の早期発見と介護予防の推進に努める。



災害にも備えた見守り体制を

効率的な方法を引き続き検討（町長）

- 私の届いてほしい思い..
- 自治会は高齢化で担い手不足も深刻です。そんな中で、災害発生時に公助が到着するまでの間、隣人の安否を確認するのは地域です。
-
-
-



問 見守りは災害時こそ真価が問われる。要援護者の情報は自治会へ提供されているが、情報の整理や共有の在り方を改めて検討する必要があるのでは。

町長 災害時に支援が必要な方を対象とする災害時避難行動要支援名簿は、入院や施設への入所等により居所が変動する方もおり、常に最新の状況を反映するまでには至っていない状況にある。名簿に

記載される方には、避難所や災害時の行動、相談窓口などを記載したリーフレットを送付するとともに、自治会と共に実施する避難訓練では要支援者の避難支援を想定した訓練を実施している。今後、本人同意の上で、名簿の整備・更新を進め、自治会への共有や活用は、見守り対策との効果的方法を引き続き検討を重ねる。

増加する空き家の対策を

計画に基づき対策を推進（町長）



町長 適切に管理され、現地確認を行い、必要に応じて応急措置を講ずるとともに、所有者や相続人等の調査を行い、適正な管理を促している。

町長 空き家が放置されると大雪等での倒壊、草木の越境、不法侵入など近隣住民へ悪影響を及ぼすことが懸念される。増え続ける空き家問題への対策を強化し、不適切な管理下の空き家への対応など町の取組は。

また、補助事業を通じて、空き家の解体や活用を推進しており、今後も引き続き対応していきたい。

なお、空家等対策計画の改定を予定していることから、この計画に基づき、対策を推進していきたい。

私の届いてほしい思い..

いつ起こるか分からない大規模地震等の災害に備え、避難所見直しは急務だと思います。

避難所運営の見直しを

避難所全体の機能強化を（町長）

町長 本日まで、屋内外に新しく避難所を指定した施設はないが、引き続き新たな施設の確保に努めたい。福祉避難所の指定については、関係事業所を対象と

町長 前に避難所見直しなど防災対策について質問したところ、多くの避難所を確保する必要があるとの答弁であったが、どの程度改善されたのか。（追跡・令和6年3月定例会）

した説明会を開催したところ、前向きな回答をいただいているので、協定締結に向けて進めていきたい。

避難所の生活環境の改善を図るため、国の交付金を活用し、シャワー設備や簡易トイレなどの備品を整備した。引き続き備品の充実を図り、避難所全体の機能強化に努める。



きど ただかつ 木戸 忠勝 議員



スキー場再開に向けての今後は

クロカンによるスキー振興を（町長）

町内外から観光、地域振興、子どものスポーツ環境整備など、スキー場の再開を望む声が今なお多く聞かれる。町の方針や具体的な取組が町民に十分示されているとは言い難いが、（追跡・令和7年3月定例会）

町長 スキー場の再開、運営に関心を持つ事業の有無について情報収集を行い、その内容を十和田観光電鉄株式会社と共有してきた。しかし、再開に関心を示す事業者からの問合せはなく、スキー場アルペンコースの再開に向けた具体的な動きはない状況である。

スキー場再開には、当時の崩落個所の復旧工事をはじめ、施設や機械設備の更新が必要不可欠であり、昨今の物価高騰の影響も相まって、多額の初期投資が見込まれている。また、スキー人口の減少や暖冬・小雪による営業日数の減少、更に燃料価格の高騰などを背景に、全国的にスキー場の休止や閉鎖が相次いでいる状況にあることから、再開に関心を示す事業者が簡単に現れるものではないと考えている。



今後は、町が管理するクロスカントリーコース及びあつたかハウス前の広場が利用可能となったことで、小学校のスキー教室や青森県小学生スキー大会などの大会運営ができるようになった。今後とも、利用者が安全に利用できる環境の確保に努め、町のスキー振興に取り組んでいきたい。

私の届いてほしい想い..

- 「スキーのまち のへじ」と言われた町。スキー場再開に向け、本気で動き、今こそ町全体で考える時ではないでしょうか。





原子力立地給付金の見通しは

統合小学校新築事業の財源確保に（町長）

問 原子力立地給付金の概要は。

町長 原子力立地給付金を構成する電源三法交付金は、発電用施設建設による利益を地元へ還元することにより、電源開発を円滑に進めるという考え方で、施設の立地市町村やその周辺市町村が行う公共施設整備、住民の利便性向上の事業などを対象として交付される。

交付される期間は、対象となる発電用施設の建設を開始期とし、その施設の運転終了までとなっており、交付限度額は発電用施設の規模などから算定され、新規の建設や増設の場合は、その分が加味される仕組みである。算定された交付限度額は、それぞれの市町村で、電源立地地域対策交付金とし

て市町村が受け取るのか、住民に直接還元するのか、選択できることになっている。

住民に直接還元する場合の額が原子力立地給付金となり、その割合も立地地域等の市町村が選択することができる。

問 これから先の給付額の見通しは。

町長 原子力立地給付金相当額は、一般家庭が契約する口数によるものと、企業が契約するキロワット数によるものの2つを足して算出されている。

令和7年度の算出額は、一般家庭分は8万4千件余りの契約に、1件当たり941円を乗じて7916万円余り、企業分は19万980キロワットに、1キロワット当たり235

円を乗じて4488万円余りとなり、合わせて1億2400万円余りとなる。

今後の推移は、企業分は電力を多く消費する施設への設備投資が行われる、あるいは、施設を停止するということも予測するのが困難であるため、同額で推移するものとし、一般家庭分は毎年約1%ずつ減少しているという、これまでの実

績を参照し推計している。推移については、令和35年度まで毎年約120万円ずつ減少していくこととなる。

問 町民の生活が物価高騰等の影響を受ける中、当町でも原子力立地給付金相当額を町民に。

町長 当面は、未来を担う子どもたちの安全安心な教育環境を整備するという統

合小学校新築事業への財源確保のため、原子力立地給付金相当額を充てさせていただきたい。



私の届いてほしい思い..

世帯数減少が加速すれば、給付金の減額は年1%で済まないと考えています。



あかがき よしのり
赤垣 義憲 議員



地域福祉計画の実現を

地域全体で支え合う体制を構築（町長）

問 地域福祉計画は、第2期計画案のパブリックコメントを実施したが、第1期の評価指標の検証、第2期の評価指標の設定根拠、相談体制の充実やアウトリーチ型支援をどのように実現していくのか。

町長 第1期の評価指標については、今後実績の数値を具体的に盛り込み、第2期の評価指標の設定根拠は、関連する計画の数値目標を引用した評価目標を設定し、総合的に評価する。

相談体制は、認知症高齢者等見守りネットワーク事業を実施し、支援が必要な方をつなぐことが増えている。アウトリーチ型支援は、自宅への訪問や各種集まりの場に出向く等、その方が希望する形でアプローチしている。



DX推進計画の見直しを

国に倣い毎年度見直す（町長）

問 町のDX推進計画は、昨年3月に策定されているが、国の新たな自治体DX推進計画が示された今、計画の見直しを行い、進捗管理を強化するためのロードマップやKPIを設定する考えはないか。

町長 国ではデジタル技術の進化や社会環境の変化に応じて見直しを行うこととされ、この考え方に倣い、本計画は毎年度点検、見直しを行い、重点取組のスケジュールについても整理していく。

来年度の具体的な取組としては、電子申請のさらなる拡充、ホームページのリニューアル、生成AIの活用などを重点的に推進する。

私の届いてほしい思い..

- 一般質問では、町民の皆さまの熱い思いと、私自身の思いがとても強く重なり、制限時間内に終われませんでした。次回また頑張りたいです。

雪対策の強化を

除雪体制の検証と対策を検討（町長）

問 短期間で一気に降る大雪が増えていく現状を踏まえ、これまでの雪対策をさらに強化する考えはないか。

町長 短時間に大量の降雪があった場合には、除雪作業が一時的に追いつかない状況も想定されることから、従来の体制のみでは十分とは言えないと認識している。豪雪対策本部の設置、災害救助法に基づく除雪支援、今後の体制の検証と雪



おおみなと としゆき 議員
大湊 敏行

捨て場の確保を含め、総合的な雪対策の検討を進める。



委員会レポート

町の課題を調査・研究しています

野辺地町議会では、2つの常任委員会を設置しています。議員は、「総務」「建設産業保健衛生」のどちらかの常任委員会に所属することになっています。

常任委員会は、町の課題や施策、事業について、所管の調査を行っています。

特別委員会は、町政のほか特定の案件についても、調査を行い、目的が達成されると調査終了となります。

これら委員会は、少人数で構成され、足取りも軽やかに調査研究することができます。



原子力エネルギー対策特別委員会の視察

学校給食の現状と課題は

現状は国で定める基準を満たしており、知識と食習慣を習得するため栄養教諭との会食を行っている。

給食センターは、改修では国の衛生管理基準への対応が困難であるため、工夫して運営している。

総務常任委員会

委員長 村中 玲子

養殖ホタテ食害の対応は

令和8年度はホタテガイ早期再生に向けて、母貝確保のため稚貝放流や採苗に係る経費など緊急的に支援する。ほかに、新貝確保緊急対策や漁業災害経営資金等利子補給についても対応する予定。

建設産業保健衛生常任委員会

委員長 木戸 忠勝

統合小学校建設の進捗は

実施設計は、統合小学校及び児童館の配置、平面、立面図がまとまった。

3月定例会に工事監理、工事単価入替、工事請負費などの予算を提出する。

統合小学校建設事業調査特別委員会

委員長 大湊 敏行

災害時等でも議会機能維持を

災害時等でも議会が議決機関としての機能を維持するために行動計画を策定する。

災害発生時に議員からの情報や要望を活かすものにするため、ルール化する。

防災・減災対策検証特別委員会

委員長 赤垣 義憲

全員協議会

水の安定供給を

人口減少、施設や管の老朽化、自然災害への備えなど水道事業を取り巻く環境は厳しさを増している。

持続可能な水道事業を維持するため、中長期的な運営が不可欠で、基本方針と財政見通しを示す水道事業経営戦略を策定した。

新規制基準適合への取組は

日本原燃株式会社を訪問し、原子燃料サイクル施設の概要と現状、新規制基準適合への取組について説明を受け、原子燃料サイクル施設の視察を行った。

原子力エネルギー対策特別委員会

委員長 中谷 謙一

特集

町民と野辺地町議会 議員との意見交換会



開催前の円陣 チーム野辺地町議会

意見交換会

皆さまからいただいた
ご意見を一部抜粋して
紹介します。

3月21日（土）中央公民館において、20名の町民の皆さまが参加されました。今回は、早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員でもあり、全国各地の地方議会の議会改革アドバイザーを務める岩崎弘宜^{ひろまさ}氏をファシリテーターとしてお迎えし、3部構成で開催しました。第2部では参加者全員からさまざまなご意見をいただくことができました。



▶▶▶ テーマ：町の活性化のために

課題は？ 思いつくその解決策は？ ここがこうなればいいのに!! など、野辺地町の未来のために思うこと、考えていることを話し合いました。

Aグループ



- 移住者に生活支援補助
- 議員定数削減
- 空き店舗などを活用したサテライトオフィスの誘致
- 首都圏へ野辺地葉つきこかぶ収穫体験 P R
- 町の伝統（祇園まつり・郷土料理等）の P R

- 空き家の解体補助
- 通院、買い物に町内巡回バス
- 高齢者等の買い物ボランティア（買い物代行など）
- タクシー会社の運転手不足解消
- 首都圏へ野辺地葉つきこかぶ P R
- 放置されている林道を有効活用して観光地に
- 気候の影響を受けない養殖漁業



Bグループ

Cグループ



- 野辺地高校入学者増加に向けた取組（魅力ある学科の設置、学力向上支援、スキー場再開整備、体育館機能改善）
- 公立野辺地病院の利便性向上（町内バスの運行）

- 高齢者等デマンド交通導入など
- スキー場に花（芝桜、ツツジなど）を植えて景勝地に
- 工業団地を活用してわさび、ブドウ栽培
- 町民の学習場所不足
- 公園遊具の充実
- 町政を多用な手段で積極的に広報
- 若者が参画できる議会

Dグループ



Eグループ



- スキー場の再開
- 学校での伝統芸能伝承（授業など）
- 若者ニーズ調査（アンケートなど）
- 町営浴場開設
- 若者が地元に残れる政策
- 若者が参画できる議会へ
- 高齢者等デマンド交通
- 若者が学習できる場の確保
- 公園遊具の充実

皆さまのご意見は、所管の委員会又は議員有志で現状の調査などを行い、対応策を協議し、その対応について、半年を目途に次回の意見交換会で議会報告します。

舞台裏..



前日の3月20日（金）に意見交換会のリハーサルを行い、どうすれば町民の皆さまと一緒に、楽しく、野辺地町のことを語り合えるだろうと、それぞれが真剣に頭を悩ませていました。



報告書は
こちらから



第40回町村議会広報
全国コンクール結果報告
奨励賞
編集・デザイン部門



講評要旨

全頁を通してタイトル文言や内容見出しは高水準。一般質問は議員ごと擬音語を使い個性的ですが、関連写真掲載で更に読みやすくしたい。

今後も皆さまが手に取って、読んでいただけるよう創意工夫を重ねてまいります。

いっぱい のへじ愛
あったらどうだろ この町に
陸奥湾一望の
観光タワー
とある声なき声

(70代野辺地町を元気にしたい男性)

愛宕公園に観光タワーを。タワーの展望台からは特に天気の良い日は絶景。野辺地町の先に陸奥湾を見渡せ、その向こうには下北半島が。売店はもちろんのこと、陸奥湾を一望できるオーシャンビューレストランで、地元名物メニューを楽しむ。



6月定例会の予定

6月17日(水) 提案理由説明

6月18日(木) 一般質問

6月19日(金) 議案等審議 *

いずれも午前9時30分からです。
日程は変更になる場合があります。

読者アンケート

- 議会だよりについて、皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。
- よりよい紙面をつくっていくためにアンケートにご協力をお願いします。



アンケート
フォーム

編集後記

愛宕公園では桜が咲き、春のやわらかな訪れを感じる季節となりました。新年度予算も可決され、町の新しい一年がスタートします。今年度も議員一丸となり、行政への監視機能を高めながら、委員会活動にも力を入れてまいります。

皆さまに「読んでみよう」と思っていただけを、親しみやすい議会だよりを目指します。

(村中)

広報委員会

委員長 横浜 睦成
副委員長 大湊 敏行
委員 木戸 忠勝
村中 玲子

赤垣 義憲
五十嵐 勝弘